

「今日はいいい日だなんて感じ」——見てもらいたい人がいるから、ハレの場をもっとハレにするために1年生はメイクをする

3 分ブリーフィング

【1. 導入】

根拠：「メイク！あと妹と遊ぶの」と、好きなことを聞かれた瞬間にメイクが真っ先に出た。学校の話は「ふつう」と一言だったのに対し、メイクの話題になった途端に言葉が増えた。

推論：メイクはすでに結衣の日常の中で特別な位置を占めている。学校という「みんなの世界」より、メイクという「自分だけの世界」への関心が強い。

FD：1年生にしてメイクは「好きなこと」の筆頭に位置しており、テーマへの関与度は極めて高い。インタビュー全体を通じて信頼できる発言が期待できる対象者である。

【2. パート1：今日のメイク】

根拠：「ママに見せたら『かわいい』って言ってくれた」「見てほしい。ママとかおばあちゃんとか」「誰にも見てもらえない時はあんまり（メイクしたいと思わない）」「お出かけする時じゃないとしない」。

推論：メイクの動機は自己完結していない。「見てもらえる相手がいる場面」と「メイクをする」が直結している。鏡で自分を確認する行為はあるが、それは「確認」に過ぎず、他者に「認定」してもらうことで初めてメイクの価値が完成する。

FD：結衣にとってメイクは他者承認と不可分な行為である。承認してくれる相手（ママ・おばあちゃん）がいる「お出かけ」という場があって初めてメイクが成立する。メイクは自己表現ではなく「承認を受け取る儀式」として機能している。

【3. パート2：使っているアイシャドウのこと】

根拠：「ねーねもキャンメイク持ってたから、同じのにしたかった」「ねーねと一緒にだって思った」「ねーねと一緒にいる感じがする」「お正月に見せる」。店

頭でキラキラしたパレットが目に入り、「お姉さんだもん」という主張でママを説得して購入。

推論：CANMAKE の購買動機の第一位はねーねとの同一化である。「同じものを持つ」ことが離れているねーねとの精神的なつながりを生み出している。店頭での視覚的な魅力（キラキラ・小さい・かわいい）が購買の引き金だったが、その背後にはねーねへの憧れというより深い動機があった。

FD：CANMAKE は結衣にとって「ねーねとのつながりを持ち歩けるもの」である。使用行為そのものがねーねとの精神的接続になっており、ブランドへの愛着は商品特性ではなく人間関係から生まれている。

【4. パート 3：CANMAKE について】

根拠：「ねーねと同じブランドだから」「キラキラしてるから」「小さくてかわいい」の順で好きな理由を挙げ、「ねーねと一緒にの方が大事かも」と優先順位を自ら明確にした。「もうちょっとでねーねみたいになれる気がする」。

推論：CANMAKE の視覚的な魅力（キラキラ・小さい）は購買の入口として機能しているが、継続的な愛着の源泉はねーねとの同一化にある。「もうちょっとでなれる気がする」という発言は、CANMAKE が憧れへの距離を縮める象徴的な役割を担っていることを示している。

FD：小学 1 年生にとって CANMAKE は「なりたい自分に近づけるブランド」として機能している。ブランド認知の経路は憧れの人物（ねーね）であり、同じものを持つことが自己変容の根拠になっている。

【5. パート 4：メイクを頑張る理由】

根拠：「今日はいいい日だなんて感じ」「メイクしてる方がもっとわくわくする」「つまらないなって日にはしない。お出かけの時だもん」「ねーねみたいになりたいから。あと、かわいって言ってもらいたいから」。

推論：メイクは「楽しい日をさらに高揚させる儀式」である。つまらない日の救済装置ではなく、すでにポジティブな状況（お出かけ）をさらに特別にするための行為。「わくわく」という言葉が示す通り、メイクはハレの場への気持ちの準備として機能している。

FD：メイクの上位概念は「ハレの場をもっとハレにする儀式」である。楽しい日をもっと楽しくなる——この感覚がメイクを続ける根本的な動機であり、承認欲求・ねーねへの憧れはその儀式を支える構造的な要素として機能している。

【6. キラキラの価値探索】

根拠：「えへへってなる」「みんなと一緒にいたい感じ」「ほんとにかわいいってわかるから（他者に言ってもらって初めてわかる）」「ママはわかってくれる感じ。お父さんはわかんないと思う」。

推論：「キラキラしたい」の本質は自己陶醉ではなく、メイクという文化を共有する女性コミュニティへの参加欲求である。承認者はメイクをする人間に限定されており、お父さんは自然に除外されている。

FD：キラキラの価値は「同じ文化を共有する人たちとつながること」にある。メイクは女性同士の共感・共有の文化であり、結衣はその文化への参加証明としてメイクを位置づけている。

【全体総括】

根拠：一貫してねーねへの言及が全パートに登場した。承認を求める相手は全員女性（ママ・おばあちゃん・ねーね・お友達）。「お出かけの時じゃないとしない」という行動原理が最初から最後まで揺らがなかった。

推論：結衣のメイク行動を貫く一本の軸は「憧れの人物（ねーね）に近づきながら、同じ文化を持つ女性たちに認めてもらうこと」である。CANMAKE はその軸の上に乗った象徴的な道具に過ぎない。

FD：結衣にとってメイクとは「ねーねという理想像への接近」と「女性コミュニティへの参加」を同時に果たす行為である。1年生という発達段階において自己評価はまだ他者承認に依存しており、メイクはその承認を最も効率よく引き出せる手段として機能している。CANMAKE はその文脈の中で「ねーねとの同一化を可能にするブランド」として選ばれている。

対象者プロフィール

- ・ 名前：結衣（ゆい）
- ・ 学年・性別：小学1年生・女兒
- ・ 居住：滋賀県大津市
- ・ 家族：父（営業）、母（パート）、妹（2歳）
- ・ 使用ブランド：CANMAKE プティパレットアイズ
- ・ 購入経緯：ドラッグストアで店頭発見。「お姉さんだもん」と主張して母に購入してもらった

- メイク頻度・シーン：月3回・週末のお出かけ時
 - 小遣い：なし
-

時差ゼロ発言録

【導入】

モデレーター：こんにちは。今日お話聞かせてくれる人です。よろしくね。今日、なんて呼んだらいいかな？お友達にはなんて呼ばれてる？

結衣：ゆいって呼ばれてる。

モデレーター：じゃあゆいちゃんって呼んでいい？ゆいちゃんのこと、いろいろ教えてほしいな。今日学校どうだった？

結衣：ふつう。給食カレーだった！にんじんだけ残しちゃった。

モデレーター：カレーいいね。にんじんだけ苦手なんだ。ゆいちゃん、学校以外で何するのが好き？

結衣：メイク！あと妹と遊ぶの。

モデレーター：メイクするんだ。今日もしてきた？

結衣：うん、してきた！

【パート1：今日のメイク】

モデレーター：今日のメイク、どんな感じにしてきたの？どこにつけてきた？

結衣：目のところ！ピンクのやつつけてきた。

モデレーター：ピンクなんだ。どこにつけたか、教えて。

結衣：ここ（目を指さす）。上のところ。

モデレーター：上のところにつけてきたんだね。それ、自分でつけたの？

結衣：うん！自分でやった。ママに見せたら「かわいい」って言ってくれた。

モデレーター：ママに褒めてもらったんだ。つけてみてどうだった？

結衣：なんか、お姉さんみたいな気持ちになった。

モデレーター：お姉さんみたいな気持ちになったんだ。どんなところがお姉さんみたいだなんて思った？

結衣：なんか、きれいじゃん。ピンクだし。

モデレーター：ピンクがきれいなんだね。そのピンク、好き？

結衣：好き！かわいいから。

モデレーター：どんなところがかわいいと思う？

結衣：んー、ピンクじゃん。ふわふわしてる感じ。

モデレーター：ふわふわしてる感じ、か。今日つけてきて、誰かに見てもらいたかった？

結衣：ママ！あとね、妹に見せた。

モデレーター：妹ちゃんに見せたんだ。妹ちゃんなんて言ってた？

結衣：「かわいい」って言ってた。でも妹まだ赤ちゃんだからわかんないと思う（笑）。

モデレーター：そっか（笑）。でも見せたかったんだね。

結衣：うん。

モデレーター：ゆいちゃん、今日メイクしてきて、ママと妹ちゃん以外にも見せた人いる？

結衣：あ、おばあちゃんちに行くから、おばあちゃんにも見せる！

モデレーター：おばあちゃんにも見せるんだね。おばあちゃんに見せたらどうなると思う？

結衣：絶対「かわいい」って言ってくれる。いつも言ってくれるから。

モデレーター：いつも言ってくれるんだね。ゆいちゃん、メイクする時って、誰かに見てもらいたいなって思いながらする？

結衣：うん！見てほしい。ママとかおばあちゃんとか。

モデレーター：見てほしいんだね。誰かに見てもらえると、どんな気持ちになる？

結衣：なんか、えへへってなる。うれしい。

モデレーター：えへへってなるんだ。誰にも見てもらえない時はメイクしたいと思う？

結衣：.....うーん、あんまり。お出かけする時じゃないとしない。

【パート2：使っているアイシャドウのこと】

モデレーター：ゆいちゃん、今つけてるアイシャドウって、どんなやつか教えて。

結衣：キャンメイクの！8色入ってるやつ。

モデレーター：8色入ってるんだ。それって、どうして欲しいなって思ったの？

結衣：いっぱい色が入ってるから！ピンクとかいろんな色があって。

モデレーター：いろんな色が入ってるのがよかったんだね。それ、どうやって手に入れたの？

結衣：ママに「買って」って言った。

モデレーター：ママに「買って」って言ったんだ。その時なんて言ったの？

結衣：「これ欲しい！かわいいから買って」って言った。

モデレーター：ママはなんて言ってた？

結衣：最初「まだ早い」って言ってた。でも「お姉さんだもん」って言ったら買ってくれた。

モデレーター：「お姉さんだもん」って言ったら買ってくれたんだね。それって、どこで「買って」って言ったの？お店の中？

結衣：ドラッグストア！ママとお買い物してた時。

モデレーター：お店で見つけたんだね。どうしてそれが目に入ったの？

結衣：きれいだったから。ピンクのやつがいっぱいあって、キラキラしてた。

モデレーター：キラキラしてたんだ。手に取ってみた？

結衣：うん！持ったらかわいかった。小さいし。

モデレーター：小さいのがよかった？

結衣：うん、ちっちゃくてかわいい。自分で持てるから。

モデレーター：自分で持てるのがいいんだね。その時、キャンメイクって知ってた？前から知ってた？

結衣：知ってた！ねーねが持ってたから。

モデレーター：ねーねって誰？

結衣：いとお姉ちゃん。中学生。

モデレーター：ねーねって、よく会うの？

結衣：お正月とかお盆とかに会う。

モデレーター：会う時、ねーねと何して遊ぶの？

結衣：メイクしてもらおう！あとネイルも。

モデレーター：ねーねにメイクしてもらうんだ。それって嬉しい？

結衣：うん！すごく嬉しい。ねーねがしてくれると本物みたいになるから。

モデレーター：本物みたいってどういうこと？

結衣：なんか、ほんとお姉さんみたいになる感じ。

モデレーター：ねーねみたいになりたいなって思う？

結衣：うん！ねーねかわいいから。メイクうまいし。

モデレーター：ねーねのどんなところがかわいいと思う？

結衣：なんかキラキラしてる。メイクしてるから。

モデレーター：キャンメイク買う時、ねーねのこと頭に浮かんだ？

結衣：うん！ねーねもキャンメイク持ってたから、同じのにしたかった。

モデレーター：ねーねと同じのにしたかったんだね。同じの持てた時、どんな気持ちだった？

結衣：うれしかった！ねーねと一緒にだって思った。

モデレーター：ねーねと一緒にだって思ったんだ。ねーねに「同じの買ったよ」って言った？

結衣：まだ言ってない。お正月に見せる！

モデレーター：お正月に見せるんだね。見せたらねーねなんて言うと思う？

結衣：「すごいじゃん」って言ってくれると思う。一緒にメイクしようってなるかも。

モデレーター：一緒にメイクしたいんだね。それって楽しそう？

結衣：うん！ねーねと一緒にメイクしたらもっとうまくなれそうだから。

モデレーター：うまくなりたいんだね。うまくなってどうしたい？

結衣：ねーねみたいにキラキラしたい。

【パート3：CANMAKEについて】

モデレーター：ゆいちゃん、これ知ってる？（CANMAKE プティパレットアイズの画像を呈示）

結衣：知ってる！これ持ってる！

モデレーター：持ってるんだね。これのどの色使ってるの？

結衣：ピンクのやつ！これ（パレットの色を指さす）。

モデレーター：それって、どこのこと？教えて。

結衣：ここのキラキラしてるピンク。

モデレーター：キラキラしてるピンクが好きなんだね。このパレット、他の色も使う？

結衣：ちょっとだけ使う。でもピンクが一番好き。

モデレーター：ピンクが一番なんだね。このパレット、見た目はどう思う？

結衣：かわいい！小さくてかわいい。

モデレーター：小さいのがいいんだね。他のアイシャドウと比べて、キャンメイクのここが好きっていうのがある？

結衣：ねーねと一緒にだから。あと、キラキラしてるから。

モデレーター：キラキラしてるのとねーねと一緒に、どっちが大事？

結衣：.....ねーねと一緒にの方が大事かも。

モデレーター：ねーねと同じキャンメイク持てて、なんか変わった？自分。

結衣：.....なんか、ねーねに近づいた感じ。

モデレーター：ねーねに近づいた感じ。それってどういう感じ？

結衣：なんか、ねーねみたいになれるかなって。

モデレーター：ねーねみたいになれるかなって思うんだね。キャンメイク使う時、ねーねのこと思い浮かべる？

結衣：うん！ねーねもこれ使ってるんだなって思いながら使う。

モデレーター：使いながら思うんだね。それって嬉しい？

結衣：うん。なんか、一緒にいる感じがする。

モデレーター：ゆいちゃん、ねーねのことすごく好きなんだね。

結衣：うん！大好き。

モデレーター：ねーねのどんなところが好き？

結衣：かわいいし、やさしいし、メイクうまいし。

モデレーター：ねーねみたいになりたいって思う？

結衣：うん！になりたい。

モデレーター：大きくなったらねーねみたいになりたい？それとも今すぐになりたい？

結衣：今すぐ！

モデレーター：今すぐになりたいんだね。今、ねーねに近づけてると思う？

結衣：.....キャンメイク持ってるから、ちょっとだけ近づけてると思う。

モデレーター：ちょっとだけ近づけてるんだね。キャンメイク持つ前と後で、何か変わった？

結衣：なんか、もうちょっとでねーねみたいになれる気がする。

モデレーター：もうちょっとでなれる気がするんだ。あと何があればもっとねーねに近づける？

結衣：.....メイクうまくなったら。あとねーねみたいな服着たい。

【パート4：メイクを頑張る理由】

モデレーター：ゆいちゃん、メイクするの好き？

結衣：好き！

モデレーター：どんなところが好き？

結衣：なんか、かわいくなれるから。

モデレーター：かわいくなれるんだね。メイクした日としない日、どっちが好き？

結衣：した日！絶対した日。

モデレーター：なんで？

結衣：した日の方がかわいいから。あとなんか、特別な感じがする。

モデレーター：特別な感じってどういうこと？

結衣：なんか、今日はいい日だなって感じ。

モデレーター：メイクすると今日はいい日だなって思えるんだね。メイクする時、誰かのこと思い浮かべながらする？

結衣：ねーね！ねーねみたいになりたいなって思いながらする。

モデレーター：ゆいちゃん、なんでメイク頑張ってると思う？

結衣：.....ねーねみたいになりたいから。あと、かわいって言ってもらいたいから。

モデレーター：これからやってみたいメイクある？

結衣：アイラインひいてみたい！ねーねがひいてたから。

モデレーター：アイラインひいたらどうなると思う？

結衣：もっとねーねに近づける。もっとキラキラできる。

モデレーター：ゆいちゃん、メイクするのって、お出かけが楽しい時？それともなんかつまないなって時？

結衣：お出かけする時！

モデレーター：お出かけって、もともと楽しみにしてる？

結衣：うん！楽しみ。

モデレーター：じゃあメイクするともっと楽しくなる？

結衣：うん！もっと楽しくなる。なんかわくわくする。

モデレーター：メイクしないでお出かけする時と、メイクしてお出かけする時、気持ち違う？

結衣：全然違う！メイクしてる方がもっとわくわくする。

モデレーター：つまんないなって日にメイクしたいって思うことある？

結衣：.....ない。だってメイクはお出かけの時だもん。

モデレーター：お出かけじゃない日にメイクしたいって思わない？

結衣：思わない。家にいる時はしない。妹と遊んでるし。

モデレーター：ゆいちゃん、今日メイクしてきたこと、お父さんは知ってる？

結衣：うん、知ってる。

モデレーター：お父さんに見せた？

結衣：.....見せてない。

モデレーター：なんで見せなかったの？

結衣：なんか、お父さんには見せなくていいかなって。

モデレーター：そっか。お父さん、ゆいちゃんがメイクすること知ってる？

結衣：知ってると思う。でもなんも言わない。

モデレーター：なんも言わないんだね。お父さんに「かわいい」って言ってほしいとは思わない？

結衣：.....お父さんはいい。ママがいい。

モデレーター：ママがいいんだね。なんでお父さんはいいの？

結衣：なんか、お父さんはわかんないと思うから。メイクのこと。

モデレーター：ゆいちゃん、お父さんにメイクのこと教えてあげたいって思う？

結衣：.....教えてあげてもいいけど。

モデレーター：教えてあげたらお父さんどうなると思う？

結衣：わかんないと思う。でもびっくりするかも。

モデレーター：びっくりするんだね。お父さんがびっくりしたらどう？

結衣：.....なんか、おもしろいかも（笑）。

モデレーター：おもしろい（笑）。お父さんに「かわいい」って言われたら？

結衣：.....なんか、ちょっとはずかしい。

モデレーター：はずかしいんだね。ママに言われるのとお父さんに言われるの、違う感じがする？

結衣：全然違う！ママはわかってくれてる感じ。お父さんはなんかちがう。

モデレーター：お父さんとママ、何が違うの？

結衣：ママはメイクするから。お父さんはしないから。わかんないと思う。

【クロージング】

モデレーター：ゆいちゃん、今日いっぱい教えてくれてありがとう。最後にひとつだけ。今日お話してみてどうだった？

結衣：楽しかった！メイクのこといっぱい話せた。

モデレーター：メイクのこと話すの好き？

結衣：好き！でもお友達はまだメイクしてる子いないから、あんまり話せない。

モデレーター：お友達にはまだ話せないんだね。今日みたいに話せてどうだった？

結衣：なんか、うれしかった。ねーねにも話したいけど、お正月まで会えないから。

モデレーター：そっか。今日話してくれたこと、すごく教えてもらえてよかったよ。ゆいちゃん、他に何か言いたいこと、ある？

結衣：.....キャンメイクもっと集めたい！色いっぱいあるから。

モデレーター：もっと集めたいんだね。どの色が欲しい？

結衣：ピンクのやつ！あといっぱい。ねーねみたいにいっぱい持ちたい。

モデレーター：今日いっぱい話してくれてありがとう。またいろいろ教えてね。

結衣：うん！またね。